

あけましておめでとございます



てんたの会が発足して今年で16年目に入り、この会報誌「やませみ」も次回は60号となります。毎月第2日曜日に開催している「ふるさと散歩」は単純に計算すると15年×12回=180回実施していることになります。「谷津田の水辺づくり」や「里山のリースづくり」のエコツアー企画では、飯能市外からの参加者が多くなってきています。中でも年末のリースづくりは定員オーバーとなるほど人気の企画となっています。新たな年を迎え、継続という力の凄さを改めて感じています。

開発計画が進行していた当時は「なんとしても天覧山～多峯主山一帯は市民の誇るべき自然豊かな場所として、後世に残していきたい」と初日の出を拝しながら祈っていたのを思い出します。

昨年、秋晴れの11月21日、天覧山谷津（通称はたるの里）にて、はんのう市民環境会議主催の「里山復活祭」が開催され、収穫したお米をムカゴご飯にして味わいました。

田植えからずっと関わってくれた学生さんが「今まで生きて来て、今日一番おいしいご飯を頂いた」と感激して私に話しかけてきた事が印象的でした。やはり『この豊かな環境を守るということは、この場所、この自然に

関わり続けることだ』ということに確信を持つことができた一言でした。昨年は天候不順で稲の生育は良くなかったにも拘らず、ほんとうに美味しいお米ができました。彼にとっては「自分で作ったお米なんだ」という想いが、更にご飯のおいしさを倍増させていたことでしょう。

一昨年（2009年）の9月に東谷津のトラスト地を買取りして以来、ここを根拠地として、ニホンミツバチの養蜂、椎茸栽培、石窯づくり等、市民が里山に親しめるような環境づくりを行っています。より多くの市民が自然環境に触れる機会をつくることから始め、そして環境学習の場として人と自然の関係を体験を通して学んでもらうことが重要だと考えています。

夢にまで見ていた「開発中止」、更には「市民・行政・事業者との協働による保全と活用」が現実となっている今、三者でしっかりと自然環境保全のあり方を見きわめた上で里山再生を進めて行きたいと思います。そして身近な自然に触れる機会の少ない市民にも、沢山参加して頂けるような楽しい企画が出来れば良いなと考えています。

NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会
代表 浅野正敏

やませみ

59

発行日/2011年1月1日
編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)

埼玉県飯能市柳町18-17

●機関誌「やませみ」は「銀河堂」「Café豆さる」「ロピングッドフェロー」「丹三郎」にあります。

●「やませみ」へのご意見をお寄せください。投稿もお待ちしています。

URL=<http://www.tenranzan.com/>
E-mail=tenta@tenranzan.com

会員募集中!



1995年、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を行っています。どうぞあなたも会員になって活動を支援してください。

※年会費 ●正会員……普通会員 2,000円
特別会員10,000円

●賛助会員……1口10,000円

※会費・カンパ送り先

郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」00580-9-16342



NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

No. 59

2011.1.1

やませみ

今年も一瞬の出会いを
何度か（？）えらべるだろう



もくじ

- 年頭のごあいさつ
- 天覧山はキノコの山/大石 章
- 環境省モニタリングサイト1000（モニ1000）里地調査
- ふる里散歩
- 東やつを楽しもう!

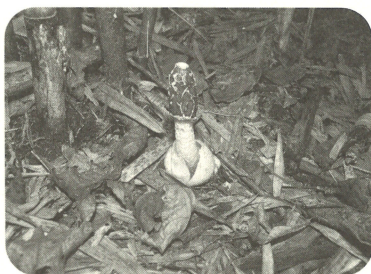
- ◎「お父さんのヤキモタイム」に参加しました!/錦織 瑞恵
- ◎「ほとけどじょうの里」石窯便り/早瀬 成憲
- ◎石窯づくりに参加して/荻野 茂喜



天覧山はキノコの山

大石 章 (キノコ初心者/会員)

2010年は夏の高温と秋の雨の影響で全国各地でキノコが豊作でした。キノコには植物の根を菌糸が覆う菌根をつくり、植物と共生するものが多く、山にキノコがたくさん生えると言うことは、自然が健全だといえるでしょう。私にとって最近の発見は、東谷津の笹藪にスッポンタケ(ラテン語の学名がなんと「恥知らずな男根」という説明に困るキノコがかなり生えること。最初、白い卵のようなものが現れ、殻を突き破って



キノコが出てきます。これが食べられるのですが、さすがの私も食欲が沸いてきません。

10月末にはコナラ林にキノコが大量に生えました。私が谷津田作業中に見つけた、気になって自宅に帰って調べたらどうもナラタケらしい。仲間にも図鑑を見せて食べられると説明しても、3人しか持ち帰りません。家族も手を出さないうでおいしかったですよ。キノコは毒もあるので、最初は少量を食べてしばらく様子を見るのが大切です。また、



開図鑑の写真是傘が開く前、開ききった後などいろいろあり、同じキノコでも色や形が異なるので、複数の図鑑で確認することが必要です。

天覧山・多峯主山地域は「環境省モニタリングサイト1000里地調査地域」に指定され、当会ではこの地域で、下記項目について調査を行っています。100年間の自然の移り変わりを見つめる作業です。どなたでもご参加いただけます。日程等詳細については当会ホームページをご覧ください。

※環境省モニタリングサイト1000(モニ1000)……環境省が全国に1000か所程度のモニタリングサイトを設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわたって継続して行い、日本の自然環境の質的・量的な変化を早期に把握するための調査です。



カエル類調査・・・2～3月毎週土曜日 午前10時～12時頃
《連絡先：042-972-9396 山梨》

カエル類の調査は、アカガエルの卵塊の数を数えて、その地域に生息している親の数を把握し、年毎の変化を見て行くものです。調査内容は、予め設定してあるエリアを見て回り、新しい卵塊の数を記録するという単純なもので誰にでも出来るものです。既にカウントしたものを重複カウントしないように標識を立てることもします。こうしていると新しい卵塊を見つけるのが楽しくなってきますよ。トウキョウサンショウウオやヒキガエルの卵塊も見つかるかもしれません。長靴を必ず履いて来て下さい。



植物相調査・・・通年 毎月11日、8:30能仁寺山門集合



ホタル類調査・・・6月下旬～7月



チョウ類調査・・・3月～11月 第1土曜日、10:00能仁寺山門集合
(晴れの日のみ実施)



カヤネズミ調査・・・6月、11月(年2回)

《調査全般の問合せ先 大石 ezh01701@nifty.com
黒住 robensou.bird@orange.zero.jp》

参加してください!

『モニタリング1000調査結果報告会』

各調査担当者が、2010年に寒風や炎天下に耐え、さらに暗闇の中イノシシの気配を感じながら地道に調査した結果を報告します。どんな植物の花が咲いたか? ホタルは増えたのか? カエルは減っているのか? 気になる方は、参加費無料(軽食付き)ですので、お気軽にご参加ください。
日時: 2011年2月11日(祝・金) 13:00～15:00頃
場所: イーストコート(飯能市東町14-13)
*東飯能駅から徒歩3分。駐車場はありません。
問い合わせ: 事務局まで (042-974-1691)

ふる里散歩

当会では天覧山周辺の自然に親しんでいただくために毎月「ふる里散歩」を開催しています。楽しい企画がめじる押しです。どうぞ、ふるってご参加ください。この花何なの? この虫は何て言うの? 同伴する会員に聞いてみてください。きっと、答えてくれるはずですよ。

1/1

土祝

「初日に祈る山歩き」の巻

天覧山山頂から初日の出を拝みましょう。一年の計は元旦にあり。一年を天覧山の散歩から始めてみませんか。

集合/能仁寺山門前午前6時15分 参加費/無料



2/13

日

「冬の里山バードウォッチング」の巻

この時期、里山には、たくさんの鳥が生息しています。木々の葉も落ちて、鳥を見つけるチャンスも多いです。双眼鏡片手にバードウォッチングを楽しみましょう。

集合/能仁寺山門前 午前9時半
持ち物/飲み物・お弁当 参加費/300円(小学生以下100円)



3/13

日

「谷津田の水辺づくりエコツアー」の巻

市民トラスト地である「ほとけどじょうの里」で汗を流した後は、お昼ご飯をお楽しみに!!

完成間近の石窯で焼きたてのピザもいただけるかも?!

集合/飯能駅改札口午前9時半 持ち物/飲み物・作業できる服装
要申込み/先着15名
参加費/2000円(子ども500円) ※主催: てんたの会



問合せ・申込/てんたの会 042-974-1691(浅野)

※「谷津田の水辺づくりエコツアー」の巻のみ申し込みが必要です。

【各回共通 *雨天は中止 *共催/はんのう景観トラスト、(財)埼玉県生態保護協会飯能名栗支部、はんのう市民環境会議】

4/10

日

「春の里山・山桜」の巻

山笑う春は、里山が一番美しい季節です。冬を耐えて一気に萌える新緑の中を散歩します。春に花咲く草木にいくつ出会えるかな?

集合/能仁寺山門前 午前9時半 持ち物/飲み物・お弁当
参加費/300円(小学生以下100円)



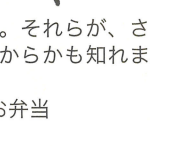
5/8

日

「新緑の里山で森林浴」の巻

木の葉のざわめき、小川のせせらぎ、森の馥郁たる香り。それらが、ささくれた心を癒してくれるのは、人類が森で生まれたからかも知れません。五感を解放して、心も体もゆ～らゆ～ら。

集合/能仁寺山門前 午前9時半 持ち物/飲み物・お弁当
参加費/300円(小学生以下100円)



東やつトラスト地「ほとけどじょうの里」作業予定

作業時間は基本的に、毎月第2火曜日と第4日曜日の午前10時から午後3時までです。現地に直接集合です。

1月11日(火)、1月23日(日)、2月8日(火)、2月27日(日)、3月8日(火)、3月27日(日)、4月12日(火)、4月24日(日)

*作業できる服装・長靴・お弁当などをご持参ください。

*雨天中止。天候がはっきりせず迷われた時はお問い合わせください。

連絡先/042-977-1890早瀬 Hayase3.cat@orange.zero.jp



東谷津トラスト地は、多くの市民の集いの場、子どもたちの自然遊びの場として活用されています。

「お父さんのヤキイモタイム」に参加しました！

錦織 瑞恵

東谷津トラスト地で11月20日(土)に、「つどいの広場にこここ」(NPO法人 子育て応援ゆう)主催のヤキイモタイムが、昨年に引き続き開催されました。

これはお父さんが主役のイベントで、2チームに分かれ、火起こし競争!! 皆さん、冷静を装いつつも、チラッと横目で相手チームの進み具合をしっかりとチェック! 熱くて煙い大変な作業をゲーム感覚で楽しんでました。その間、ママと子どもはさつまいも準備。2〜3才の子が職人のような顔つきでお手伝いをしていたのが、微笑ましかったです。

お芋が焼けるまで、にこにこスタッフやボランティア参加のあけぼのプレイリーダーと楽しい自然遊びを沢山発見しました。笹舟を小川に流したり、木の枝で丸太を叩いて演奏したり…、子どもの遊びは無限です。

最後は、ホクホクのヤキイモと豚汁を全員で美味しく頂きました。てんたの会員のミニ自然観察会も興味深く、親子共々、自然に触れることができ、大満足でした。

※「おとうさんのヤキイモタイム」

NPO法人ハンズオン埼玉が子育て応援キャンペーンとして行っているもので、お父さんたちが子どもたちと一緒にヤキイモをして食べる中で父親の子育て参加を進めようというものです。2005年より県内各地域で毎年100箇所実施され、つどいの広場にこここでは、2008年よりこの取り組みに参加しています。



東谷津を楽しもう!!!

“ほけとじょうの里” 石窯便り

早瀬成憲 (会員)



1 石窯小屋の基礎杭に防腐剤を塗ります。



2 谷津田は湿地ですから基礎はしっかりと太い丸太杭を打ち込みました。(大変だった〜!!) その上に厚いコンクリートの基礎を固めました。



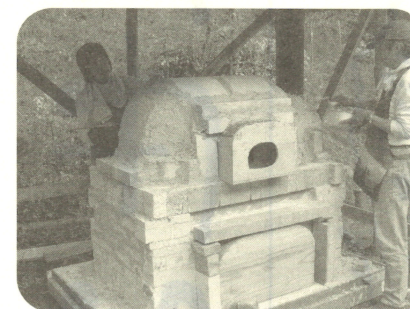
3 小屋の骨組みがほぼできあがりました。



4 木製の型枠に合わせてレンガ積みです。耐火レンガを耐火モルタルで固めていきます。



5 二段目の石窯作りの最中です。耐火コンクリートで扉の型枠や煙突部を固めています。この上に粘土やモルタルでドーム型の窯を作っていくのです。



6 初めての石窯作りには、大胆(?)な設計になってしまいました。

1月23日(日)
12:30より
石窯完成を祝して、
「初窯まつり」を行います。
中身はお楽しみに!

昨年7月から始まった
多目的石窯作りは、
いよいよ完成の姿が見えるところ
まで進んでいます!



石窯つくりに参加して

荻野 茂喜 (所沢市/農民)



(上) 荻野さんの茶畑と羊たち
(下) 子羊を抱く荻野さん

今回石窯作りに参加したのは、てんたの会の日頃の活動に共感したのと自宅に石窯をつくるためです。

私の生業は無農薬、無化学肥料栽培のお茶の栽培と製造、直売です。農薬による家族の事故をきっかけに有機農業へ20年前に転換し、さらに現在は持続可能な自給自足を目指した生活者のグループ作りを構想しています。そのため米や小麦、大豆や雑穀、野菜や果樹を栽培したり、草や人が利用できない作物の残りで羊や山羊を飼育しています。

また知人と共同作業で利用されない伐採材を回収して薪を大量に作っています。

このような地域にある資源をいかしたり、かつて営まれていた伝統的農業を再生して、豊かでおいしく、楽しい生活をおくるのに、石窯で焼くパンやピザや色々な料理は最もうってつけだと思います。石窯は一度にたくさんの調理ができるのでこうした豊かさ、自然の恵みを多くの人々と分かち合えることができます。

今後、自給農畜産物の加工、特に発酵を利用して元々人々の生活の中にあった豊かな食べ物、飲み物のハンドメイドもしたいと思っています。